

Sagabi News 62





告知・報告

教学振興資金寄付のお願い

本学園では教育研究に関わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金のご寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動の充実、施設設備等教育環境の充実、学生の奨学制度の充実など、学生の学びの環境の充実に活用されます。

金額は個人：1口1万円、法人：任意とさせていただきます。（1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。）

2017年4月から2018年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、企業・法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。

個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学ホームページ「ご寄付のお願い」の申し込みフォームよりお申し込みください。（下記QRコードよりアクセスしていただけます。）

また、企業・法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄付金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。

お申し込んだ後、専用の払込取扱票（手数料は無料です）をお送りいたします。

なお、ご親族・お知り合いの方等にご支援くださる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければ幸いです。

昨今の厳しい経済情勢で申し上げにくいお願いではありますが、本学園の教学振興にご理解をいただく皆様にご支援をお願い申し上げます。

本学「ご寄付のお願い」
ウェブサイトURL

<http://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

問い合わせ先： 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 管理運営グループ（寄付金窓口）
Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133
e-mail : soumu@kyoto-saga.ac.jp



↑ 申し込みフォームこちら ↑

2016年度 教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。2016年度教学振興資金寄付金は古本募金も含めて117件、2,139,507円となりました。

頂戴しました寄付金は、老朽化・耐震化対策のため食堂の改修等に活用させていただきました。

また、2015年度に創設しましたワークスタディ奨学金制度といった奨学金制度の拡充、在学生の学修環境の充実をさらに進めております。今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

嵯峨芸古本募金さがりポンプロジェクト(2016年度)につきましては、皆様の善意により、昨年度は21,986円(内個人からの募金18,695円、不特定多数からの募金3,291円)となり、図書購入費用として本学附属図書館の充実に活用させていただきました。

本学図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。今後ともご不要となりました本などございましたら、学内に設置の古本回収ボックス*1にご投函いただくか、もしくは5点以上を段ボール箱につめて、きしゃぼん(フリーダイヤル0120-29-7000またはweb申込フォーム<http://kishapon.com/sagegei/>)へお申し込みいただければ、送料無料で希望日時に宅配業者が集荷に伺いますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年度 寄付者の方々(五十音順・敬称略)

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付頂きました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

青木 達也	榎原 教子	高家 昌昭	松本 麻紀
青野 純子	金氏 脩介	多田 真理子	丸山 亜子
安宅 薫	川 勝 真	田中 真洋	溝江 幸子
安藤 正勝	木村 昭三	谷川 いづみ	光岡 道寛
池田 航大	桐山 典也	塚 本 猛	峯 敦
石川 利佳子	小林 錦造	辻 信 夫	宮崎 美枝
伊 藤 威	近藤 尚貴	辻 正 博	宮田 幸典
井上 一彦	坂口 俊文	寺田 武彦	三好 郁朗
今井 健二	笹倉 浩明	中井 宏子	三 好 恵
岩木 優子	佐藤 智子	南部 まゆ	村田 和香
上 田 文	佐藤 一郎	西山 裕人	森本 知恵
上野 公嗣	佐野 満千恵	西脇 由起	安田 弘和
植 松 正	澤 田 周	橋口 俊之	山中 信子
内山 玲子	篠原 悦子	橋本 裕美	吉岡 健二
宇野 善昭	柴田 保子	久安 勝志	吉岡 康治
梅原 和弘	清水 正彦	福田 みのり	吉田 仁美
江頭 弘勝	勝田 真美	藤村 享子	若林 さゆり
大勝 稔朗	白 鳥 恵	藤原 啓治	渡辺 典子
岡村 美砂子	須崎 和明	藤原 正美	渡邊 智洋
奥 忍	蘇理 淳子	堀江 茂弘	
小國 英夫	平良 俊雄	松本 伸一	
奥野 洋子	高橋 敏明	松 本 透	

※お名前前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

※1 回収ボックスの設置箇所は「管理棟1F事務局内」、「C棟3F教育・機材SC前」、「有響館B1図書館内」の3箇所となっております。

大学報告

ホームカミングデイ報告

学園祭期間中に実施していた「嵯峨芸・嵯峨美ホームカミングデイ」ですが、今回は初の試みとして6月11日(日)に単独開催いたしました。卒業生や、退職教職員の皆さまをお迎えし、軽食やスイーツバイキングでおもてなしをいたしました。いけばな嵯峨御流の先生方にもご協力いただき、豪華な生花で会場を華やかに彩っていただきました。開会后、佐藤賢次同窓会長にご挨拶をいただき、嵯峨芸・嵯峨美にまつわるクイズで卒業生とともに、青春時代を思い出しながら大いに盛り上がり、名残を惜しみながら盛会

のうちに終えることができました。
(管理運営グループ)



教育後援会総会報告

2017年度総会が7月2日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催されました。2016年度事業報告・決算と2017年度事業計画・予算、新役員が選出され、全て承認されました。引き続き、芳野明制作展委員長から本年度の制作展開催に向けた取り組みが報告されました。総会閉会后には、学科・分野別に担当教員との懇談会や、事務職員との成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談会が実施されました。そのほかに、施設見学会や就職支援セミナーを実施し、多くの方にご参加いただきました。また、当日お配りした無料拝観券で「旧嵯峨御所 大本山大覚寺」へご参拝をいただ

きました。参加者の皆さまからは、おおむねご好評をいただき、本学の教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。
(管理運営グループ)



2017年度 オープンキャンパス、 体験入学報告

前期オープンキャンパスを4月23日(日)、6月4日(日)、7月23日(日)、8月20日(日)に開催しました。また、体験入学を5月28日(日)、6月18日(日)、7月9日(日)に実施しました。体験入学は本学の恵まれた施設で1日かけて本格的な実習体験をしていただくものです。今年もオープンキャンパス、体験入学とも多くの方にご参加いただきました。

入学広報グループでは広報活動や各種募集イベント内容の充実をはかり、一人でも多くの受験生に本学の学びを知っていただけるよう取り組んでおります。

前期に実施したAO入試では、Ⅰ期・Ⅲ期を体験授業形式、Ⅱ期は面談形式で行いました。後期の入試では、昨年度多くの方に受験いただいた「スカラシップ(特別奨学生)

入試」を11月と3月の2回実施します。スカラシップ入試合格者は特待生として採用され、大学では総額200万円、短期大学では総額100万円の給付を受けることができます。(※継続審査有)(入学広報グループ)



大槻香奈&サガビ生 「あたらしい家」プロジェクト展

本学客員准教授である大槻香奈先生と学生との共同企画「あたらしい家」プロジェクト展が、8月19日(土)~26日(土)まで本学附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」で開催されました。

この展覧会は、大槻先生の近年のテーマである「家」を、嵯峨美術大学イラストレーション領域、嵯峨美術短期大学専攻科およびコミックアート分野の学生10人と一緒に考え共同で制作する、5月より行っているアートプロジェクトの成果を展示したものです。

7月23日(日)に開催されたオープンキャンパスでは、大槻先生と学生の制作の様子を附属ギャラリーで再現し、多くの来場者に見ていただきました。またこのプロジェクトの

様子はドキュメンタリーとして撮影され、今後オープンキャンパスなどで公開される予定です。大槻先生とは次年度も共同でこのような企画を行いたいと思います。

(嵯峨美術大学・安斎レオ准教授)



「Neutral Gray フツーってなに？」

7月19日(水)~25日(火)まで玄関ホールギャラリー「アートスペース嵐」で、観光デザイン領域2年生が構想・全体デザインを担当し、「暮らしの中で、多様性はどのように理解するのがよいのか。マイノリティを取り巻く不具合はどうしたらいいのか。身近な人権について考え直したり話し合ったりする場を作る。人の交流や対話が促される空間を作る」を目的として小さな展覧会を開催しました。

染織テキスタイル領域とイラストレーション領域の学生のコラボレーションを取り入れた、おとなしいけれど刺激的な展覧会でした。会場内に設置されたホワイトボードには鑑

賞者による様々な意見が書き込まれました。
(嵯峨美術大学・江村耕市教授)



構想・全体デザイン

観光デザイン領域2年：白鳥 岬、村岡 香織

のれん制作

染織テキスタイル領域3年：佐藤 未玖、禪院 千賀、橋本 和佳、正木 奈実

ひまわりのドローイング

イラストレーション領域2年：江島 諒、大野 礼葉、大畑 佑月、角谷穂乃香、加藤 明気、河端 智美、清川 真世、上田 美緒、近藤 颯、山形 康吉、緩利 郁弥、坂井 理早

「丹穂 Perfume Art Project 2017」

7月5日(水)～10日(月)に本学「アートスペース嵯峨」にて「丹穂 Perfume Art Project 2017」、日仏英韓の学生・若手アーティストによる香りのアート交流展を開催しました。Boris Rauxの監修のもと、松本泰章教授と岩崎陽子准教授の指導で、本学学生10名、卒業生2名、パリ・ボザールの学生2名、ソルボンヌ大学の学生1名、ロンドン大学附属セントラルセントマーティンズの学生2名、韓国若手アーティスト1名という大所帯で、共同制作を行いました。展覧会のテーマは「京都の匂い」であり、海外から初来日した学生たちの新鮮な「鼻」を通じて、本学の学生たちも京都を見つめ(嗅ぎ)直していました。京都独特の香りとして、「茅の輪」「雨上がり」「抹茶」「紅花」「くちなしの花」「古着」

「自転車で走り抜ける鴨川沿いの匂い」などをコンセプトに、各国の学生たちが助け合いながら展覧会を創り上げました。フランスと京都で開催5度目を迎えたPerfume Art Project。次回はパリで再集結の予定です。
(嵯峨美術短期大学・岩崎陽子准教授)



丹穂展集合写真

在学学生受賞情報

2017年前期の各種コンテストなどで受賞・採用された在学学生の情報を一部ですが紹介します。おめでとうございます。
(入学広報グループ)

■ ジェイアール京都伊勢丹開店20周年記念 ロゴマーク学生コンペ

◆【入賞】アーティスト賞(カンバラクニエ氏)
田中 保奈美さん(嵯峨美術大学デザイン学科3年生)

◆【入選】
大野 礼葉さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)
岡村 和真さん(嵯峨美術短期大学美術学科2年生)
加藤 明気さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)
坂口 遥さん(嵯峨美術短期大学専攻科デザイン専攻2年生)
竹野 沙樹さん(嵯峨美術短期大学美術学科2年生)
仲野 彰馬さん(嵯峨美術短期大学美術学科2年生)
波方 涼平さん(嵯峨美術大学デザイン学科3年生)
西川 友里夏さん(嵯峨美術大学デザイン学科3年生)
牧 聖一郎さん(嵯峨美術大学デザイン学科3年生)

■ JAGDA(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会) 学生グランプリ2017

◆【入賞】「優秀賞」
山田 莉奈さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)

◆【入選】
川野 菜月さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)
後藤 亜水さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)
鷺見 幸子さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)
中島 榛香さん(嵯峨美術大学デザイン学科2年生)

■ 兵庫県展

◆【入賞】絵画部門 一席 部門大賞(知事賞)
木村 晃子さん(嵯峨美術短期大学専攻科美術専攻1年生)

◆【入選】絵画部門
金丸 英子さん(嵯峨美術短期大学美術学科2年生)

告知

今年の学園祭は「学友祭」です！

「嵐芸祭」として親しまれてきた本学の学園祭は、今年は「嵐芸祭」という名称でなく、「学友祭」として開催します。残念なことに、今年は実行委員である嵐芸祭執行部に後継者が少なく、従来の形で「嵐芸祭」として開催できなくなったためです。

そこでなんとか学園祭を開催するため、学友会執行部が学園祭を執行する運びとなりました。

それにともない学園祭の名称を「学友祭」に決定しました。開催日は10月28日(土)、29(日)です。

学生のなかで、学友会というのは学友会執行部であるという認識が強く、学生全員＝学友会という意識を持つ学生は少ないです。

そこで、学生全員＝学友会という認識を共有できるよう、学園祭の名称を「学友祭」としました。学生一人一人に学友会

のメンバーである自覚が芽生え、活気溢れる「学友祭」となるようにしたいと思います。

また、今年は学校名が嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学に変更されました。それを記念して、今年はOB・OGの方、教職員の方などの外部出店も可能にし、多くの人に足を運んでもらいたいと考えています。

(「学友祭」実行委員会委員長 延原 亜沙美)



本学関係者による展覧会情報

江村耕市/嵯峨美術大学 デザイン学科 『マチデコ・インターナショナル2017』

会 期：10月6日(金)
会 場：京都国際マンガミュージアム

江村耕市/嵯峨美術大学 デザイン学科 京都国際映画祭・アートイベント 『首里嵯峨2017秋』

会 期：10月12日(木)～15日(日)
会 場：京都伝統産業ふれあい館(京都・岡崎)

たま/嵯峨美術短期大学 コミックアート分野 『たま個展 -Rosette-』

会 期：11月21日(火)～12月3日(日)
会 場：ヴァニラ画廊(東京・銀座)

一紅/嵯峨美術短期大学 コミックアート分野 『TATSUYA ART COMPETITION 2017』

会 期：12月2日(土)～22日(金) 会期中無休
会 場：GALLERY龍屋[Space A+Space B] (愛知・尾張旭市)

附属ギャラリー「アーツスペース嵯峨」スケジュール

「日本画専攻科2回生展」

会 期：9月24日(日)～28日(木)
時 間：10:00～18:00(最終日17:00まで)

「外山重男・ある兵士の日常」

会 期：10月1日(日)～22日(日)
時 間：10:00～17:00

「森の高さ2017」

会 期：11月3日(金・祝)～12日(日)
時 間：11:00～18:00(最終日16:30まで)

「Circulation 9」

会 期：11月14日(火)～21日(火)
時 間：12:00～18:00(最終日15:00まで)

「Saga Subject Exhibition」

会 期：11月23日(木・祝)～27日(月)
時 間：9:00～17:00

「第15回 Saga Art Jam展」

会 期：12月10日(日)～17日(日)
時 間：11:00～17:00(最終日15:00まで)

「洋画・現代アート卒業生作品展」

会 期：12月19日(火)～25日(月)
時 間：11:00～17:00

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

アートプレイス「アーツスペース嵐」スケジュール

「本質の探求」(2階ラウンジ)

会 期：9月19日(火)～29日(金)
時 間：9:00～18:00(最終日16:00まで)

「愁」

会 期：10月23日(月)～26日(木)
時 間：9:00～20:00(最終日15:40まで)

木
賊
色

木賊色(とくさいろ)とは、木賊の茎のような青みがかった濃い緑色のことです。鎌倉以前からある伝統色名で、『宇治拾遺物語』『義経記』などにもその名が登場します。落ち着いた渋い緑が中世の武家や年配者の衣装として好まれ、江戸中期には流行色となりました。また秋に刈り取って使ったことから「木賊刈る」は秋の季語となっています。

「TOKI-Japonium展」

会 期：11月1日(水)～6日(月)
時 間：9:00～20:00(最終日18:00まで)

「彫刻3回生展」

会 期：11月8日(水)～14日(火)、休館日/11月12日(日)
時 間：12:30～15:50(最終日15:00まで)

「Ever lasting blue」(2階ラウンジ)

会 期：11月15日(水)～28日(火)
時 間：9:00～18:00

「私の女の子展」(玄関ホールギャラリー)

会 期：11月16日(木)～27日(月)、休館日/日曜日
時 間：9:00～19:00(最終日16:00まで)

「短期大学 デザイン分野 助手展」(玄関ホールギャラリー)

会 期：11月17日(金)～28日(火)
時 間：9:00～20:00(最終日17:00まで)

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵や美意識について、今年度は「京都の食を支える」をテーマに講師をお招きして、ご講演いただいています

第113回 「パン食と健康」

日 時：9月23日(土・祝) 14:20～15:50
講 師：堀 三津雄 氏 <株式会社志津屋 代表取締役>

第114回 「永遠のテーマ～トマトの気持ちを理解できるか?～」

日 時：11月18日(土) 14:20～15:50
講 師：中村 尚司 氏 <京都 中村農園 代表>

※有響館4階・G401教室にて開催(参加無料)
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：9月16日(土)、12月16日(土) 13:00～14:00

※有響館1階・附属図書館内にて開催(入場無料)
大学授業・行事などにより開催日、テーマなどを変更する場合があります。
お問合せ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美大ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出展いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：11月25日(土)・26日(日) 11:00～16:00
場 所：ギャラリー棟前・芝生エリアなど

※天候や、大学授業・行事などにより開催日を変更・中止にする場合があります。
お問合せ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Sep.2017 — Jan.2018

9月 5日(火)・・・前期集中授業期間 ～8日(金)	28日(土)・・・学園祭 ～29日(日)
10日(日)・・・体験入学	29日(日)・・・学園祭オープンキャンパス
18日(月・祝)・・・後期授業開始	11月 4日(土)・・・公募制推薦入試※本学・岡山で実施
24日(日)・・・AO入試Ⅲ期(体験授業型)	5日(日)・・・スカラシップ入試(前期) ※本学・岡山で実施
10月 1日(日)・・・入試対策実技講習会	12月10日(日)・・・外国人留学生入試(前期) ※本学・台湾で実施
21日(土)・・・大学院入試(前期) ※社会人、留学生含む 専攻科入試(前期)	海外帰国生入試(前期)、 社会人入試(前期)
22日(日)・・・指定校推薦入試 3年次編入学入試(前期) ※留学生含む	25日(月)・・・年内授業最終日 26日(火)・・・冬季休業 ～1月8日(月・祝)



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



2017年4月、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨美術短期大学より名称変更

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第62号 2017年9月15日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

